

5,000km の距離を超えて笑顔の交流

19日、区立西宮中学校（宮前5-1-25）では、オーストラリアのウィロビー市の高校とインターネット回線をつないだビデオ交流が行われました。杉並区とウィロビー市は、平成2年に「友好都市協定」を締結し、中学生などの短期留学などで交流を続けています。

ウィロビー市は、シドニーの北部に位置し、シドニーの中心部からは、車や列車で30分ほどの住宅都市です。平成2年5月11日に、杉並区と「友好都市協定」を締結しました。その当時、国際化の気運が高まっており、杉並区でも世界で活躍する人材を育成するために、海外との交流先を探していました。ウィロビー市は、大都市シドニーの近郊に位置するみどり豊かな住宅地であることが、杉並区と類似しており交流をすることとなりました。

交流協定の締結以来、相互に中学生を中心とした短期留学を行ってきました。西宮中の春日陽子教諭は、昨年短期留学に随行。随行した教員のメンバーは、派遣された子どもたちが、大きく成長することを感じ、より多くの子どもたちに国際交流の機会を与えたいと考えようになりました。しかし、杉並区から南半球のウィロビー市までは、5,000km以上の距離があり、飛行機を使っても10時間以上の長旅になります。もちろん、経済的な負担も小さくありません。そこで、手軽に年間を通じて交流のできるインターネットの活用となりました。



19日、区立西宮中学校の英語部の生徒たち10名とウィロビー・ガールズ・ハイスクールで日本語の勉強をしている生徒たち12名が、インターネットを通じて、交流を行いました。西宮中の堀凌大(3年)さんは、春休みに家族で訪れた伊勢神宮について、英語で紹介。オーストラリアの生徒も、日本語で自国にて流行しているケーキやアニメのことを紹介しました。およそ、1時間の短い交流でしたが、同世代同士ということもあり、ゲームや音楽、ボーイフレンドのことなど終始笑顔の絶えない時間を過ごしました。インターネットを通じての交流は、今回が初めての試みでしたが、「今後は、今日の成果を踏まえ、5,000kmの距離を乗り越えた交流をさらに重ね、区内中学校にも広げていきたい」と春日教諭は話していました。

【報道機関 問い合わせ先】

教育委員会庶務課 TEL：3312-2111 内線 1608